

OB会 だより



定年後の人生・・・
新しい道に挑戦し、
輝いている仲間がたくさんいる

そのひとり 佐々木 芳子さん 「ペンションの経営」 に挑戦

春を告げる黄色のリウキンカと白いコブシ、向こうの黒姫山にはまだ残雪が。
厳しい冬をじっと耐え、雪解けを待って一気に咲く早春の花々。

ここ黒姫の自然に魅せられ、川口市から移りペンション「ウォルケ」をはじめた
佐々木芳子さん夫妻。今年で21年になる。エプロンおばさんとひげのおじさんのモ
ットーは「お客さんとのコミュニケーションを大切に」 埼玉協同病院にいた頃の優
しい電話対応の姿勢は今も変わらない。東日本大震災の時は地域の人たちと、長野県栄
村に毎日トン汁やサラダを届けに、黒姫に温泉をと行政に、医療生協の班会。山葡萄
の葉が真っ赤に染まる頃ウォルケ「ミニ文化祭」 忙しく飛びまわる佐々木さん。
森の恵みと共に癒されるのが、温ったか夫婦の温ったか料理。
旬の山菜が山ほど。笹の葉寿司、焼き筍、木の芽の天ぷら、絶品の卵豆腐、極めつけ
は すみれライス。ウォルケの心からのおもてなしが、訪ねる私達の心に沁みてきま
す。

全国連絡会 第11回総会 開かれる

民医連退職者の会全国連絡会第11回総会は、5月22～23日 石川県金沢市で開催されました。

東日本大震災の影響で1年遅れた今総会は、27番目の会が岩手に誕生し、沖縄でも組織づくりが始まろうとする中、未結成の富山・福井の代表を含め25都道府県から過去最高の130名の参加がありました。



【総会の様子】

埼玉代表として参加した小野

敏さん・金子仁志さん、全国幹事の小川祥江さんに感想をいただきました。

第11回総会に参加して

小野 敏

総会会場は石川県金沢市でした。金沢訪問は、私にとって10回くらいになります。

私が好きな金沢への行き方を紹介します。上越新幹線越後湯沢で北越急行線の特急「はくたか」に乗り換え、金沢に行く路線が好きです。今回は5月末でしたので、田圃に水が引かれ、早苗が植えられ、水面に映る山々を見ながらのたびでした。

総会の感想を記します。

- ① 金沢スカイホール10階の会場からは、金沢市内が一望でき、新鮮な食材が販売される近江市場が近く、観光的にも配慮されたこと。
- ② 石川民医連退職者の会が、多く参加され、全国の参加者を快く歓迎してくれました。また、趣味の作品多数が会場に展示紹介されました。
- ③ 埼玉の報告では、金子さんのインターネットを利用した「埼玉民医連退職者の会」ホームページ紹介は、全国の仲間に衝撃を与えました。
- ④ 夜の交流会で、新潟の仲間が「埼玉の行田協立病院元院長 故小林盈蔵先生が作曲した新潟大学校歌を合唱します」と発言された時、退職した全国の仲間達の心の中に、民医連の長い歴史の繋がりが生きていることを知り、衝撃を受けました。

ホームページを映し出すと「オー」と驚きの声

金子 仁志

この春から埼玉民医連OB会が、全国のOB会の中で初めて立ち上げたホームページの取り組みについて報告してきました。

会場のパソコンを使い直接ホームページにアクセスしてスクリーンに映し出すと、参加者の間から「オー」という驚きの声が上がりました。インターネットの利用が、OB会という身近な所にまで広がっていることを実感した驚きかと思います。

これまでホームページを立ち上げたものの、埼玉の会員内での利用にしか目がいておりませんでした。全国の会議に参加したことで、それぞれがホームページを立ち上げて取り組みを載せることが出来たなら、活動の交流と発展に大きな役割を果たせると感じました。

現在のホームページはまだまだ改善すべきところがたくさんありますが、全国の民医連OB会の取り組みに少しでも貢献できるよう、今後も継続して運営していくことが必要であると思いました。

埼玉でも工夫したい活動が 山ほど

小川 祥江

1. まず驚いたのが、開催地石川の総力をあげた歓迎でした。会場の一角に設けられたお茶席には、和服姿の石川の仲間達がお抹茶とお菓子でのおもてなし、まさに金沢らしさです。その脇には皆さんの作品展、石川の底力を見せつけられました。

2. 記念講演は、石川のあざみ正三先生（全日本民医連名誉会長）

「汝の立つ処を深く掘れ！そこに泉がある！ ～民医連と共に歩んだ私の60年～」

と題して、先生の60年間にわたる民医連人生を熱く語られました。詳細はパンフが出るようですのでご覧ください。

3. 宮城からの特別報告「東日本大震災を中心とした活動」では、映像によって映し出されるあの惨事事業所も会員の多くも被害にあいながら、安否確認や訪問、仮設住宅への支援など「負けねっちゃ 諦めねっちゃ 生きるねっちゃ」



【夕食交流会 地元石川の皆さん】

を合言葉に立ち向かう姿に大きな拍手がおくられました。

各県報告は三重・埼玉・石川・大阪の4県。どの県も会員一人一人の声を大切に
した活動、仲間のふれあいや交流で楽しい活動、社会活動等が積極的にとりくまれ
ていました。作品展に農産物が並んだり、3ヵ月毎の「例会」で学習や趣味特技の
披露・食事会、一人暮らしの会員との繋がりを絶やささないなど、埼玉でも工夫した
い活動が山ほど。金子さんの報告には皆さんビックリ。「時代がかわったなあ・・・」
とは近くの席にいた人の言葉です。

17県参加の機関紙交流は、期待と活用の声が大いいのを反映しすばらしかったで
す。多くの人の顔が見え、内容も親しみがあり、喜ばれる紙面づくりなどたくさん
の学びがありました。また、ほとんどの県がカラー印刷に変わっていました。

4. 前総会に続いて全国幹事に小川が選出されました。全国の教訓を埼玉に、埼玉の
活動を全国に、微力ながら努力したいと思います。



今から40数年前、金沢から新卒薬剤師として川口診療所に入職・勤務されてい
た山田英津子さん（現在板谷さん） 現在、石川退職者の会で元気に活躍され、
総会時も受付を担当、笑顔で全国の仲間を迎えていました。
埼玉の皆さんによろしくとのことでした。



【金沢城公園】



【総会会場から見た金沢市の街並み】

写真は金子仁志さん



新入会員紹介

よろしくお願い致します



♪ 浦川 恵子さん

3月31日にちょっと早めの定年退職を迎えました。

検査技師学校を卒業して宮城民医連で2年、結婚後埼玉に移住、縁あって埼玉協同病院検査科に入職。以来34年、さいわい診療所、所沢診療所、あさか虹の歯科、思いもかけない科長や事務長も経験しました。

退職を考え始めた頃から、時期は年度末、退職後は田舎で暮らす、二つのことを思っていました。今は、私の出身地であり、夫が大学時代を過ごした大好きな仙台に程近い、蔵王のふもとで暮らす準備が始まった所です。緑と風を感じながら、おいしいお茶を飲むのが楽しみです。埼玉の家も残しますので、OB会の行事には参加したいと思っています。よろしくお願い致します。

♪ 片桐 久美子さん

OB会の皆様お久しぶりです。

少々無理のきかない体調のため早期退職しました。

現在は、医療生協さいたま本部事業部医療事業支援課で仕事をさせてもらっています。

今まで多忙な日々でしたので、これからは少し自分の楽しみを考えながら行動できるといいな！と思っています。たまには、温泉にも行きたいと思います。

すばらしい趣味といえるものもないのですが、フラワーアレンジメントは好きです。

(好きだけど上手？ではないです)

どうぞよろしくお願い致します。



♪ 時田 規矩子さん

この度OB会に加入させて頂きました時田です。よろしくお願い致します。

富診、西協同、所診、秩父で仕事をし、退職してあっという間に10数年になりました。「OB会で青春18きっぷの旅があるよ」と竹村さんから話を聞き、早速参加させて頂きました。小野さんのきめ細かな計画で楽しい時を過ごさせてもらいました。天気にもめぐまれ今までで一番すばらしい富士山もながめられ、なつかしい方々にもお会い出来ました。

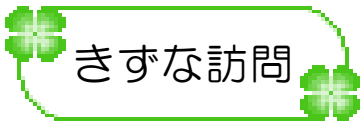
10月の旅行楽しみにしています。

♠ 飯島 正男さん

お世話になります。

県南の病院・診療所を中心に放射線技師として勤務していましたが、64歳で退職しました。最終の職場はさいわい診療所でした。

現在は家でのんびりしていますが、週に1日程度（さいわい診療所）現役復帰しております。よろしくお願い致します。



きずな訪問

青柳 伸二 さん

いま、最も旬な人
衆議院埼玉1区（さいたま市浦和区・見沼区・緑区・岩槻区）予定候補として元気いっぱい奮闘している青柳伸二さんをたずねました。

青柳さんはニコニコととても愛想がよくなった感じです。

第一声は、「OB会だよりをみると、皆さん楽しそうにあちこちに出かけていますね。一緒に行きたいですよ・・・」



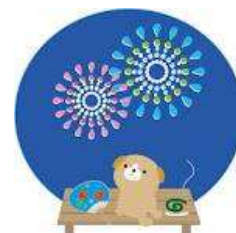
「ウーン、候補者ってこんな風になるんだあ・・・」とは、訪問した仲村・小川のまずの感想です。

1993年、本部組織部に勤務していた頃、大宮市議に立候補したのを皮切りにさいたま市議をふくめ、3期14年活躍された青柳さんは、今年二月衆議院埼玉一区の候補者となりました。そのときの感想を、「昨年暮れ、会議の席上突然“提案します”という形で言われ、とてもじゃないけど私の任ではありません」と。いったんは断ったものの、新年になって引き受けざるを得なかったようです。従来のエリアに比べると5～6倍に

広がった地域で、週4日朝の駅頭行動をはじめ、街頭演説、訪問や集会への参加など、バイクで飛びまわっています。

木曜日が「学習・休養の日」のようですが、この日は役所内に出勤？、日曜版配達、「生活相談」の処理とか。完全に休んで、赤旗の整理とか、書類の整理とか、部屋の片づけとか、いろいろあるのですがドツとかぶるのが嫌で、中途半端に「仕事」っぽいことをやったり、かみさんの買い物に付き合う「仕事」も稀にあるとか。

奥さんのみどりさん（OB会員）の作る食事は？と聞いたら、
「おいしいかどうかはともかく、朝晩は全面的に依存です。
自慢じゃないですが、私は料理について知識も能力も皆無なので。
かみさんが仕事や会議で晩ご飯を作れないときは、外食でなく自炊。



とは言うものの、チンして食べられるものを買ってくるとか、刺身など」
週2日の休肝日の厳守、これはもう20年以上も続いているようですが、ご自慢の健康管理を嬉しそうに話してくれました。

たくさんの人に触れる中で心を動かされたことの一つに、
若いお母さん達が、子どもたちの手をひいて放射能被害を心配しながら真剣に訴えていること。目に見えず、いつ襲ってくるか、いつ終わるかわからず予測できない被害にどうしたらよいのか・・・新しいエネルギーをもらいながら「原発ノー」の声を大きく、安全な地球を守るために、一緒にがんばらなければと強く思いました。

もう一つは、高校の同級生で医者になった男がいて「小沢一郎を支援する会」の幹部でもあります。その彼が、「TPPに反対するため立候補して豊島区の医師会長になったこと」「一点共同」が広がり、すでにこのような形で現実は動いているんですね。

日まじに魅力的で頼もしくなっていく青柳さんですが、どんな努力を？との問いに、「特にありません。自然体です」とテレながらの弁、でもうれしそうでした。

OB会の皆さんに言いたいことは、
「体も頭も使って、動けるときにはいっぱい動くことにしましょう。そして良い仲間でありたいです。よろしくお願い致します」とペコリ。愛すべき青柳さんでした。

私達と同じOB会員から国政選挙に候補者が出た喜び・誇りを胸にがんばろうと思いを強くした訪問でした。

訪問者 仲村 敬子
小川 祥江

私の近況です

3ヶ月の入院生活で

沖宗 洋子



埼玉協同病院の神谷先生の紹介で、都立駒込病院を受診、以来3ヶ月の入院生活を経て6月末に退院してきました。自宅に帰ると、OB会だよりや第22回総会議案書が届いていましたので、私の近況をお知らせします。

駒込病院で感じたこと

① 癌病棟は満床でした。その中で私の生活状況をよく聞きとり、考えた上での対応を最後までていねいにしてくれました。特に退院後の独り暮らしを考慮しての入院期間は感謝しています。

② プロ中のプロ・・・ そんな印象を受けました。

「どんな苦情でも、どんな相談事でも話してください」このような言葉と笑顔は患者にとって、精神的に大きな支えになりました。又、先生（部長）は毎日朝 7 時ころ、夜は 8 時過ぎに病室に顔を見せてくれました。

これからは 2 週間に 1 度の通院になります。体がもう少し回復したら、OB会の行事にも参加させてください。

2012. 5 「ダイヤモンド婚」を祝う

高橋 昭雄

- ・ 六十年の 婚を祝うと 今日の膳 われら歩みし 一筋の道
- ・ 誓いてし 子らの住む世の革新は 未だ成し得ず 思い深む日
- ・ なにはとも 子らと吟ずる 夜の宴 我らの内を 熱く励ます
- ・ それぞれに 記念の品を 刻みいる 工作室に 春陽差し入る
- ・ わが子らの 道に託すは 無惨なる いくさなき世と 協同のくに



『日本近現代史を読む』 まだ道半ばですが

早田 繁

何年経ったかは忘れましたが、行田 9 条の会に加入しています。

会の活動の一環として「日本の近現代史を学ぼう」と月 1 回のペースで開講しています。第 1 回が 2010 年 10 月でしたから 1 年半続いたことになります。テキスト『日本近現代史を読む』の読みあわせと、会の事務局長を努める元教師の講師に用意していただいた豊富な資料の紹介と解説が付いています。明治維新から始まり現在、真珠湾攻撃あたりです。

無謀で残虐な侵略戦争へと突き進んでいった過程を改めてじっくり把握することで、より一層現行憲法が輝いて見えてきます。未だ道半ばですが脱落しないで最後までがんばろうと思っています。



スカイツリーに行ってきました

山本 康男

兄達と登ってきました。

（登ったのではなく上がったのかな？）

下は混雑していましたが、上はなかなか快適で充分楽しみました。

ホームページ開設に思う
会員の声

ホームページで
更に幅が広がるように思う



瀬川 則男

「埼玉民医連退職者の会（OB会）」を開くと、画面には埼玉の風物詩。「妻沼・あじさい寺（能護寺）」のカラー写真がぐっと大きく映し出されます。妻沼は元祖梅ちゃん先生、荻野吟子の出身地と説明があります。地元、熊谷市在住の私にはちょっとうれしくなりました。次の更新時にはどこ（何）が紹介されるのかな、と楽しみです。

会員にはカメラを趣味にしている方もいるでしょうし、また、早朝ウォーキングのときに見つけた「野の花」などを写メールで投稿して、「私の風物詩」や「私のまちの風物詩」として交流するのも面白いなと思いました。

第22回総会の写真紹介も「OB会だより」では紙面の都合で紹介できなかった方たちの「楽しそうな笑顔」に出会えて、うれしかったですね。

OB会会員の交流が「OB会だより」を中心に、新たにホームページを加えることで更に幅が広がるよう思えて楽しくなりました。

HP作成ご苦労さまでした。

石原 囿美

少し、苦情を言わせてもらおうと。「ページが開く」までに時間がかかりすぎるようです。これだけ時間がかかると、パソコンのトラブルかと、思いますね。

それから、これは、「書き込み」は不可能ですか。



遠く愛媛にいても 皆さんのお元気な様子が

和田 美津保

インターネットで「埼玉民医連退職者の会」で検索するとホームページが出てきました。妻沼・あじさい寺（能護寺）の写真は今の季節にぴったりですね。

遠く愛媛県にいてもOB会の皆さんのお元気な様子も拝見できうれしかったです。また、「OB会だより」の紙面をいつでも見ることができて、本当に便利になりました。私には郵送で送られてくる紙媒体のほうが読むのにはいいのですが、「OB会だより」のバックナンバーにも興味があすので、バックナンバーも載せてもらえると思います。作成している方のご尽力には頭が下がります。これからも、最新の活動状況の写真を頻繁にアップしてください。 よろしくお願ひします。

とてもいい 架け橋に

高橋 喜長

さっそくページを開き、大判の写真に完声をあげました。ホームページを通じて、退職者のみなさんや役職員にも閲覧の機会になって、とてもいい架け橋になると思います。担当者や関係者の方々に敬意を表すとともに、皆で喜びあいたいと思います。

- 写真が大きくてグー。文字が大きくてもっとグー。
- 「医療生協さいたま」へリンクできるところもあって大変良かったです。
- 今度は「さいたま民医連」方からも、リンクしてもらえるようになれば、院所や埼玉民医連とつながり、もっと連携投稿できるようになればいいなあ・・・

事業所訪問・・・大井協同診療所

埼玉民医連の各事業所を訪問し、今どんな医療や介護問題に取り組んでいるのか？ 《我が院所のご自慢》を伺いながら、お知らせしていきます。スタートは大井協同診療所です。

埼玉民医連発祥の地である大井協同診療所（旧入間医療生協）を訪ねました。

診療所は今年で65年になり、大きな転換期を迎えています。車で10分足らずの場所に二つの

診療所（大井・上福岡）がありましたが、4月から大井協同診療所一か所となりました。今秋、上福岡協同診療所は新たに「小規模多機能型居宅介護事業」を開始予定です。

新しい事業所体制になり、「診療所の今とこれから」を鹿野事務長に伺いました。

★ 診療所の今 ★

医療（外来・訪問診療・健康診断）と介護（通所・訪問リハ）が中心。

4月から患者が1.4倍と大きく増えましたが、医師をはじめ現場の体制は以前のままです。3診体制で医師は常勤2人、非常勤Drに頼っている。ほとんどが家庭医を専門としていて、丁寧に話を聞き患者からの信頼や評価も高くうれしいです。

問題は待ち時間の長いこと。診察が終わって薬と会計でも待たされている。

バス便は上福岡駅とふじみ野駅を運行しています。

また、個人送迎をしています。料金は無料です。ほとんどがリフト車での送迎で、



往診も可能ですが、月一回ぐらいは外出の機会を作るようにしています。高齢になると足の確保は大事に、利用者さんには感謝されています。

在宅は月60件くらいですが、医師体制がないため増やせないのが悲しいです。

デイサービスの利用者さんは40人くらいいらっしゃいますが、上診が始まったらそちらに移る予定です。

★ これからの診療所 ★

目標は看護師を核としたメディカルホームづくりです。問診から患者さんとそれを



【デイサービス・食事前の様子】

支える家族の生活背景を理解し、「家族の暦」を作り家庭医の医療を目指しています。3年ぐらいの中期事業計画で、医療・在宅・介護を中心に、組合員との事業で配食なども考えたいです。8月をめぐりに無料低額診療事業も準備しています。顔の見えることを大事に、こちらから出向き組合員と職員が育ちあう診療所、地域との強いつながりで、組合員が安心して利用できる診療所をつくりあげていきたいです。

★ 私達の感想 ★

大井協同診療所が地域医療の拠点としての役割りを築いてきていることを再確認できました。問題の待ち時間を解消し、笑顔のある、明るい職員集団の診療所になることを期待します。

訪問者 朝妻 幸平

太田 清子

介護保険の改善を 求める取り組み 新座市の経験

6月行われた医療さいたま総代会での朝妻幸平さんの発言内容を紹介します。

私はあさか虹の歯科地区新座支部長の朝妻です。

介護保険の改善を求める取り組みについて発言し討論に参加します。

新座市は、昨年3月「新座市日常生活圏域ニーズ調査」を実施しました。この調査は65歳以上の32,000人を対象に介護に関するアンケート調査です。約27,000人から回答がありました。

「あなたのお住まいの地域に地域包括支援センターが設置されていることをご存知で

すか」の問いに 62.6%の方が「いいえ」と答えています。

新座支部はこの問題を大変深刻な問題としてとらえ、介護保険料の値上げ問題と共に、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に関する公聴会に参加し、次のような提案を行いました。①市内に6ヶ所ある地域包括支援センターを「高齢者総合相談センター」と変え、誰でもわかる名称にしてください。②相談センターは地域で暮らす高齢者の皆さんを様々な面から総合的に支えられるものにしてください。③相談センターはその内容も多面的であり、人もお金も必要です。思い切った予算措置を要望します。④高齢者が安心して暮らしていける街づくりをめざし積極的施策を実施してください。



以上の提案を行い、公聴会には3人の運営委員が公述人としてそれぞれの問題について意見を述べました。

結果は24年度から「高齢者相談センター」と名称を変え、ケアマネやケースワーカー10人を増員し、予算措置も実施されました。内容に若干不十分さもありますが、実現したことに喜んでいきます。

これらの成果は、公聴会だけでなく、計画策定委員会の傍聴、自治体キャラバンでの要望などが大きな役割を果たしてきたと思います。また支部は、市の出前講座を活用し、介護保険や健診の結果説明会、健康日本21策定にあたっての懇談なども繰り返しおこなってきました。

こうした取り組みを通じて、①他団体と共に2年連続国保税の引き下げの実現、②市が公募した健康日本21の評議員に多数の応募者の中から医療生協の支部長が選ばれた。③支部が提出した埼玉県立大学に医学部の設置をの請願が委員会・本会議とも全会一致で採択されるなど、医療生協の存在が市政に影響を与えられるようになりました。これからも各種公聴会や審議会に参加し、取り組んでいきたいと思ひます。

映画

「核の傷」を見て思うこと

栗原 和子

肥田先生のすごさが、自然と伝わってくる映画でした。広島・長崎の原爆による直接被爆、残留放射能による被爆、本当に悲惨で原爆投下は、「アメリカによる人体実験」が目的だったとの肥田先生の指摘には改めて怒りがわきました。



二部のしらさぎ会の方の話で、「赤ん坊をおんぶしているお母さんに、『頭がない』と言わなければ、あのお母さんは生きていたのではとないかと悔やまれる」と、話されていましたが、平和のために「何かをしなければ」と思わずにはられませんでした。

昨年の 3・11 福島原発の事故により放出された放射能は、秩父や群馬の山にあたり地表に堆積し、風や雨で流され運ばれています。色も匂いもなく目にも見えない放射能を、すでに私たちは吸い込んでいるかも知れません。食べ物を通じての摂取など内部被ばくの可能性と危険については、改めて原発事故の恐ろしさを思い知らされました。小さな子供たちへの影響を考えると、10年・20年先にどのような病気が出てくるか心配です。原発は、そこにあるだけでも人の健康を侵します。「福島出身と聞いただけで、結婚もできなくなる、差別もされるのでは・・・」との高校生の発言がありました。今でも沢山の方が、家に戻れず避難をしているにもかかわらず大飯原発が再稼働されました。大飯原発の下には断層があり、いつ動くか知れないと言われています。



トラブルが起きてからでは遅いのです。

8月には、原水禁世界大会が開かれます。7月行田市に国民平和大行進が入ります。今年は一層「核兵器廃絶・原発ゼロ」の思いを込めて、平和な地球のために歩きます。

反核映画の数々が 日の目を見る？

石丸 乾二

「核の傷」この映画は 2006 年作で、日本語版は福島原発の件で脚光を浴びる事になったようです。他国ではすでに、フランス語版やロシア語版等で上映されています。

肥田先生が 1975 年に原水協などとともに国連に原爆被害の再調査を要請に行った時、「低レベル放射能」という本をアメリカのスターングラス博士と会って持ち帰り、そこで原爆被爆者の病気のわけ＝急性放射能症だけでなく、被曝後何 10 年も経って晩発障害が起こるわけ、そして、原発や核兵器生産施設の周辺の 50～100 マイルと離れたところでも各種ガンが多発したり、乳幼児死亡率が高くなったりすることなどを知らされたようです。1977 年「被爆問題国際シンポジウム」が開かれ、原爆被爆がまだ終わっていない問題と認知され研究と運動が今日まで続くことになりました。この映画はその足跡を追っているように見えます。

イラク戦争などでの劣化ウラン弾の影響、チェルノブイリの原発事故のこともあっ



て、また、「原爆症認定集団訴訟」で国側の全面敗訴もあって、今や内部被曝は常識になっています。そしてついに、「内部被曝を生きぬく」のタイトルの映画が！ 肥田舜太郎の他、鎌田實、児玉龍彦の「原子カムラ」に反撃しフクシマに寄り添う医師達の内部被曝の危険性とそれとどうすればよいか、・・・ 鎌中ひとみ監督の作品でお寺の住職一家と経営する幼稚園の家族の苦悩と悩みを追って「脱原発」を静かに訴えかけます。

肥田舜太郎は登場しないけれど、「立ち入り禁止区域・双葉～されど我が故郷～」（監督：佐藤武光）監督は双葉高校野球部OB。震災・原発事故の後、検問の警備と交渉して沈黙の町を撮影したドキュメンタリー映画。私は怒りと涙で震えました。

やはり原発は廃炉へ、核兵器は廃絶へ です！

南相馬市の「警戒区域地区解除」のこと 原発事故は終わっていない

事故当日、どういう状況だったのかとよく聞かれるのですが、「何が起きたのかわからなかった」というのが当日の瞬間です。

放送で（原発が爆発したから、すぐ避難して）というだけで、三郷市に避難してきて事故の状況をテレビで知ったというのが実情です。

警戒区域再編ですが、線量の高いほうから①長期帰還困難②居住制限③避難指示解除準備区域になりました。大部分は③ですが、拙宅を含む 130 世帯が②になりました。

①は 1 世帯のみです。拙宅は一時立ち入りの際の私的な測定からすると、①になるのかなと思っていましたので、ほっとしたというのが正直な感想です。しかし立ち入りに当たって、南相馬市の許可を得る必要がないというだけであり、それ以外は従来と変わりはありません。

居住制限区域の線量は 20～50 ミリシーベルト/年で、今後の除染に期待するところ大ですが、それが果たしてどの程度の効果を発揮するものか何もわかっていないのが実情です。③に該当する地域は比較的線量は低いものの地震・津波の被害が甚大で、しかもこの一年間なにも後処理がなされていません。インフラを整備し、除染をする

南相馬市から避難してきた中嶋さん（南相馬・小高地区 9 条の会代表）の声を、石原囿美さんを通してよせていただきました。



にも気が遠くなる位の時間がかかるでしょう。

「ふるさとに戻る」ということを念頭においた場合は、今回の再編措置は一步前進ですが、それとは別に原発そのものが収束していないわけで、もし再臨界(とくに4号機の使用済み核燃料プールから燃料を取り出すまで3~5年かかる、その間大きな余震などで冷却が維持できなくなるおそれが大きい、しかも燃料プールには制御棒がなく、建屋の屋根が吹っ飛び青天井になっているはず)がおきたら、近くに寄った分危険が増しているわけです。もっとも、そうなれば首都圏を含む半径250キロ圏内に避難指示が出されるとか・・・そうならないことを祈るばかり。

一年以上過ぎて、多くの人の関心が他に移りつつあるように思われますがそれぞれ新しい「安全神話」かもしれません。福島第一原発は薄氷を踏む状態です。

各地の動き

♪ うらしんOB会 ♪

総会報告

6月3日、浦和駅西口の千代田旅館で開催しました。参加者25名(会員39名)、庄巻は肥田舜太郎先生が九州に出張中なので欠席との事だったのですが、駆けつけてくれたことです。95歳のパワーに只々脱帽するとともに感謝です。

そして、こもごもと昔センター病院建設に向けて医療活動と地域活動を連動させた活動はすばらしい、誇りを持ってくださいと賛辞をおくってくれました。みんな嬉しくなって、座がパッと賑やかになりました。青柳伸二さんは衆議院立候補の挨拶、OB会から記念品として「ネクタイ」を贈りました。ノーネクタイだったので合わせてみました。色具合がピッタリでした。高橋喜長さんは、町田市から娘さんの介助で電車での出席。リハビリも順調に進んでいる様子がみえました。会食・懇談と思っていたよりお酒が進み「しゃべりたいこと」をため込んでいたように、話に花が咲きました。

二次会もコーヒーをたのんで、時間延長してもらいました。

(小嶋美智子)





6月の黒姫は、あたり一面の新緑と可愛い花達に囲まれ のんびり、ゆったり。笹ヶ峰牧場で風に吹かれながら食べたおにぎりのおいしかったこと。持ちきれないほどのワラビ、蕨の薹も。遊歩道の脇には、山芍薬の真っ白な花が三輪。ペンション「ヴォルケ」を基地にステキなひとときでした。(おがわ)



(写真は小田政満さん)

埼玉県民医連退職者の会 〒333-1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内
